

ダイワ溪流バトル2015中部大会 大会結果

開催日 2015年4月19日(日) 天候 曇りのち一時雨
 開催場所 岐阜県 郡上市 ウィンドパーク 気温 4℃~15℃度
 参加人数 89名



大会概況

例年よりも若干春の到来が遅く、桜の花がまだ残る長良川郡上地区において今年も溪流ファン待望の溪流バトル2015中部大会が開催された。

今年の長良川は3月末~4月にかけての天候不順で50cm~1m近い高水が続いたこともあり本流のアマゴの釣れ出しが遅れていたが、大会数日前から水位も下がり本流部は実質サラ場に近い絶好の状況下での開催となった。

予選は今年の川の状況判断が明暗を分けた。

今年の長良川のアマゴの生育状態の遅れを把握し、今年の本流の標準サイズ17~20cmサイズを手堅く2尾揃えた選手が予選通過を果たし、昨年の200gオーバーの予選通過ラインを意識して大場所を狙った選手は苦戦を強いられる結果となった。

心配された釣果も検量する選手の人数は例年通り多く、相変わらずの長良川水系のアマゴの濃さの健在ぶりが証明された。

決勝は水位が高く流芯部に竿を入れられない水況を勘案し、昨年よりも下流部のエリアを拡大する形で開催。

予選中盤から降り出した雨の影響で若干濁りが入り水位も増えつつある状況下で、流れの中の小さなスポットを丁寧に釣った選手がコンスタントに釣果を伸ばした。

結果的には昨年の倍近い数のアマゴが検量に持ち込まれ、当に技術を競う溪流大会にふさわしい熱戦が繰り広げられた。

優勝は唯一2桁釣果10尾を釣り上げた正者選手、2位・3位は9尾同数での大物1尾重量勝負で堀選手、野村選手が続くというハイレベルの結果となった。

2年連続の雨模様の寒空の下、熱い戦いを繰り広げられた全大会参加選手の皆様、お疲れ様でした。

決定戦順位	お名前	フリガナ	決定戦		予選		
			尾数	重量(g)	順位	尾数	重量(g)
1	正者 孝明	ショウシャ タカアキ	10	130	2	2	228
2	堀 洋平	ホリ ヨウヘイ	9	81	8	2	204
3	野村 文泰	ノムラ フミヤス	9	79	16	2	189
4	櫻井 好文	サクライ ヨシフミ	7	104	20	2	175
5	今井 加津三	イマイ カツゾウ	5	79	9	2	203
6	長屋 裕之	ナガヤ ヒロユキ	4	66	11	2	196
7	和田 久志	ワダ ヒサシ	3	116	1	2	253
8	北原 康志	キタハラ ヤスシ	3	94	13	2	193
9	斉藤 勝也	サイトウ カツヤ	3	69	20	2	175
10	奥田 幸一	オクダ コウイチ	3	54	6	2	212
11	田中 学	タナカ サトル	2	95	15	2	191
12	金子 哲也	カネコ テツヤ	2	84	7	2	209
13	片岡 達男	カタオカ タツオ	2	57	14	2	192
14	伊藤 吉朗	イトウ ヨシロウ	1	116	12	2	195
15	石原 弘光	イシハラ ヒロミツ	1	83	23	2	169
16	鈴木 英則	スズキ ヒデノリ	1	80	23	2	169
17	中山 誠	ナカヤマ マコト	1	57	4	2	214
18	中村 哲大	ナカムラ マキヒロ	1	36	23	2	169
19	宇都 雄三	ウト ユウゾウ	0	0	3	2	223
20	近藤 宏卓	コンドウ ヒロタカ	0	0	5	2	213
21	中根 恭太	ナカネ キョウタ	0	0	10	2	199
22	北條 政弘	ホウジョウ マサヒロ	0	0	17	2	186
23	田中 博美	タナカ ヒロミ	0	0	18	2	179
24	小林 智徳	コバヤシ トモノリ	0	0	19	2	176
25	小島 鋭一	コジマ エイチ	0	0	22	2	171

備考

- ① 全長15cm以上のアマゴ、またはヤマメとします。
- ② 予選は2尾の重量で順位を決定し、上位24名が決定戦進出します。
今大会は予選24位同重量タイの選手が出たため、決定戦は25名にて行われました。
- ③ 決定戦は総尾数で順位を決定し、同部数の場合は最大魚1尾の重量で決定します。
さらに同重量の場合は予選の順位で決定します。
- ④ 決定戦0尾の場合は予選の順位に順じます。
- ⑤ 敬称略
- ⑥ コンピューターの表示問題の為、旧漢字等を修正させて頂くがございます。ご了承下さい。